

水道水源保全地区の指定について

水大気環境課

1 基本情報

地区名	吉瀬水道水源保全地区、大曾倉水道水源保全地区、中山水道水源保全地区、中曾倉水道水源保全地区、上割水道水源保全地区（5地区）
位置	駒ヶ根市中沢の一部（天竜川の東側）
申出年月日	平成26年7月8日
申出者	駒ヶ根市長 杉本幸治

2 指定区域の概要

区分	吉瀬	大曾倉	中山	中曾倉	上割	
面積	11.94ha	12.34ha	1.89ha	6.64ha	4.50ha	
自然環境の状況	地形	北沢川と寺沢川により造られた沖積錐である。	女沢峠の南西斜面であり、古屋敷川と女沢川の上流の傾斜地である。	戸倉山の南西斜面であり、竹の沢川右岸側の上流の傾斜地である。	中曾倉川左岸側の谷型の傾斜地である。	新宮川左岸側の傾斜地である。
	地質	基盤岩は主に花崗岩と変成岩である。				
	植生	アカマツ群落が大部分を占めており、一部カスミザクラコナラ群落分布している。	カスミザクラコナラ群落分布している。	カスミザクラコナラ群落とカラマツ植林が分布している。	アカマツ群落が分布している。	アカマツ群落とカラマツ植林が分布している。
	水系	寺沢川と北沢川であり、天竜川へ流れ込んでいる。	大曾倉川の支川である古屋敷川と女沢川であり、大曾倉川は天竜川の支川である新宮川に流れ込んでいる。	大曾倉川の支川である竹の沢川である。	新宮川の支川である中曾倉川である。	新宮川の支川である火打沢川である。
降水量	駒ヶ根市中沢にある、中沢観測所（新宮川上流）の年平均降水量は1,450mmである。					
土地利用の状況	山林、一部保安林を含む	山林、一部保安林を含む	山林	山林、一部保安林を含む	山林	

3 水源の概要

区 分	吉瀬	大曾倉	中山	中曾倉	上割
水道の名称	駒ヶ根市上水道				
水源の名称	吉瀬第1水源 吉瀬第2水源	女沢水源 古屋敷第1水源 古屋敷第2水源	中山水源	中曾倉水源	上割水源
水道設置者	駒ヶ根市				
水源の種別	伏流水	湧水	湧水	湧水	湧水
取水量 (H25実績)	・吉瀬第1水源 計画 37.0m ³ /日 実績 25.7m ³ /日 ・吉瀬第2水源 計画 22.0m ³ /日 実績 15.3m ³ /日	・女沢水源 計画 30.0m ³ /日 実績 14.0m ³ /日 ・古屋敷第1水源 計画 19.0m ³ /日 実績 8.9m ³ /日 ・古屋敷第2水源 計画 11.0m ³ /日 実績 5.1m ³ /日	計画 30.0m ³ /日 実績 13.0m ³ /日	計画 38.0m ³ /日 実績 25.0m ³ /日	計画 45.0m ³ /日 実績 24.0m ³ /日
取水率*	25.9%	17.1%	51.9%	28.4%	40.3%
取水施設の位置	・吉瀬第1水源 駒ヶ根市中沢 950-□ ・吉瀬第2水源 駒ヶ根市中沢 397	・女沢水源 駒ヶ根市中沢 9017-1 ・古屋敷第1水源 駒ヶ根市中沢 8715-167 ・古屋敷第2水源 駒ヶ根市中沢 8715-165	駒ヶ根市中沢 7663-5	駒ヶ根市中沢 10888-33	駒ヶ根市中沢 7253-717
取水施設の構造	・吉瀬第1水源 コンクリート 集水桝 ・吉瀬第2水源 コンクリート 集水桝	・女沢水源 コンクリート 集水桝 ・古屋敷第1水源 コンクリート 集水桝 ・古屋敷第2水源 コンクリート 集水桝	コンクリート 集水桝	コンクリート 集水桝	コンクリート 集水桝
給水区域	吉瀬地区	大曾倉地区	中山地区	中曾倉地区	上割地区
給水人口 (H26.4月現在)	163人	146人	56人	98人	115人
給水量(平成25 年度実績)	41.0m ³ /日	28.0m ³ /日	13.0m ³ /日	25.0m ³ /日	24.0m ³ /日
原水の水質	・吉瀬第1:大腸菌 の検出以外は水道法 の水質基準に適合 ・吉瀬第2:水道法 の水質基準に適合	水道法の水質基準 に適合	大腸菌の検出以外 は水道法の水質基 準に適合	大腸菌の検出以外 は水道法の水質基 準に適合	大腸菌の検出以外 は水道法の水質基 準に適合
取水開始年月日	H6.3.31	S53.8.8	S61.3.27	S61.3.27	S63.12.23

* 取水率=取水量(実績)÷年間降水量×指定区域面積×湧出率×100 (湧出率=1/3)

4 その他

指定申出の理由	地区の貴重な水源であり、良好な水質を将来にわたって保全してゆくため。
区域設定の 考え方	取水地点の集水区域について設定。